



社会調査・データアーカイブ 共同利用・共同研究拠点事業
二次分析研究会 2014 課題公募型研究 成果報告会

わが国における就業と生活行動との関連性についての多角的研究

2015年3月26日(木) 14:30~18:45 東京大学赤門総合研究棟5階センター会議室

開会の辞 伊藤伸介(中央大学)

【第1部】 司会 佐藤香(東京大学)

- 日本版”New Class Map”の検討
報告者：三輪哲(東北大学)
- 転職時における社会ネットワーク資源の階層性に関する分析
報告者：石田賢示(東京大学)
- 学歴としての専門学校の効果に関する基礎分析—就業構造基本調査を用いて—
報告者：多喜弘文(法政大学)
- 若年・壮年層における不安定雇用リスクの地域別分析
報告者：森山智彦(下関市立大学)

休憩(16:30~16:45)

【第2部】 司会 石田賢示(東京大学)

- 乳幼児を持つ夫妻の「拡張育児時間」の推計
報告者：水野谷武志(北海学園大学)
- 世代特性から見た就業と生活行動に関する実証分析
報告者：伊藤伸介(中央大学)
- 学卒から初職への移行に関する分析
報告者：水落正明(南山大学)
- 生活時間からみたライフスタイルの階層差—平成24年社会生活基本調査を用いた分析—
報告者：佐藤香(東京大学)・石田賢示(東京大学)

開会の辞 伊藤伸介(中央大学)